

第二期荒尾地域硝酸性窒素削減計画の概要

1 計画の目的

硝酸性窒素による地下水の環境基準超過を防止し、住民の健康の保護と生活環境の保全を図る。

2 第二期計画策定の背景（第一期計画（平成15年度～令和4年度）の評価）

- （1）指標井戸の平均濃度は低下傾向。水道水源では平均濃度の上昇傾向は見られないが、5 mg/L以上の水源が確認されている。
- （2）指標井戸を個別に見ると、5 mg/L以上の井戸で上昇傾向が多く見られ、5 mg/L未満の井戸で低下傾向が多く見られた（二極化の傾向）。
- （3）依然として基準超過地点が見られることから、現在の状況を踏まえながら、継続して対策に取り組むことが重要である。

3 計画の期間

- （1）令和5年度（2023年度）～令和24年度（2042年度）（20年間）
- （2）5年ごとに各取組みの評価及び更新を行い、令和14年度（2032年度）に、目標の中間評価を行う。

4 計画の目標

（1）5 mg/L以上かつ上昇傾向を示している指標井戸
①10年以内に上昇傾向の指標井戸10%以下
②20年以内に上昇傾向の指標井戸を0%
（2）環境基準（10 mg/L）を超過した指標井戸
①飲用指導等による健康被害防止率100%
②20年以内に基準超過井戸を10%以下
③将来的に荒尾市内の基準超過井戸を0%

5 取組みの体系

計画では、以下の取組みの体系に合わせて、具体的な目標値を定めた取組指標を設定し、硝酸性窒素削減に向けた取組みを推進していく。

主な取組項目	取組みの性質			
	発生源	堆肥の 広域流通	飲用 対策	啓発
①施肥に関する取組み	○			○
②畜産に関する取組み	○	○		○
③生活排水及び事業場排水対策	○			○
④飲用対策			○	○
⑤新たな視点を入れた取組み	○		○	○

6 新たな視点を入れた取組み

- （1）環境×農業の取組み：土壌・堆肥分析により、施肥に対する取組みをさらに促進
- （2）環境×水道の取組み：パックテストを用いた簡易水質検査の開始（荒尾市）
- （3）環境×GISの取組み：地下水質とGISを連携し、状況を見える化